



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 栗林商船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9171 URL <http://www.kuribayashishosen.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 宏吉
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 阿部 英之 (TEL) 03-5203-7982
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,512	7.3	△52	—	27	—	33	△94.1
25年3月期第1四半期	10,727	6.0	△149	—	△128	—	565	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 507百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △82百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.65	—
25年3月期第1四半期	44.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	49,147	11,579	19.0
25年3月期	46,933	11,142	19.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 9,350百万円 25年3月期 8,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	6.2	300	25.5	250	26.0	150	△82.5	11.90
通期	46,000	5.0	800	102.6	700	111.9	400	△63.4	31.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	12,739,696株	25年3月期	12,739,696株
26年3月期1Q	139,406株	25年3月期	138,519株
26年3月期1Q	12,600,721株	25年3月期1Q	12,601,815株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 最近における四半期毎の業績の推移（連結）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権のアベノミクスによる経済・金融政策への期待感から企業及び家計のマインドが大幅に改善し、景気回復への期待が高まっております。また、設備投資や雇用の改善はまだ見られないものの、円安による輸出の増加や公共事業の積み増しもあり、先行きは不透明ながらまだら模様の景況感となりました。

こうした経済情勢の中、当社グループは海運事業において燃料価格の上昇が予定していた価格を下回り、貨物輸送も順調に推移いたしました。ホテル事業においては、前連結会計年度より引き続き集客に努めたことで業績は改善されました。不動産事業は、概ね順調に推移しております。

（海運事業）

当第1四半期連結累計期間は、当初予想より燃料油価格の上昇がなかったこと、貨物輸送量も順調に推移したことで、売上高は前第1四半期連結累計期間に比べて753百万円増（7.4%増）の10,891百万円となり、営業費用は前第1四半期連結累計期間に比べて658百万円増（6.4%増）の10,974百万円となったことから、営業損失は前第1四半期連結累計期間に比べて94百万円改善の82百万円となりました。

（ホテル事業）

当第1四半期連結累計期間は、前連結会計年度より継続して集客が順調に推移しました。これにより売上高は前第1四半期連結累計期間に比べて32百万円増（7.5%増）の469百万円となり、営業費用はコスト削減に努めたものの前第1四半期連結累計期間に比べて27百万円増（6.0%増）の477百万円となり営業損失は前第1四半期連結累計期間に比べて5百万円改善の8百万円となりました。

（不動産事業）

当第1四半期連結累計期間は、一部契約更改等がありましたが、順調に推移し、売上高は前第1四半期連結累計期間並の171百万円となり、営業費用は前第1四半期連結累計期間に比べて2百万円増（2.0%増）の133百万円となり、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べて4百万円減（10.0%減）の38百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,512百万円（前第1四半期連結累計期間比785百万円増 7.3%増）、営業損失は52百万円（前第1四半期連結累計期間比96百万円改善）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,813百万円増加の16,745百万円となりました。これは、現金及び預金が1,145百万円、受取手形及び売掛金が488百万円、繰延税金資産が110百万円それぞれ増加したことによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて386百万円増加の32,346百万円となりました。これは、建設仮勘定が45百万円、投資有価証券が764百万円それぞれ増加し、船舶が284百万円、建物及び構築物が39百万円、機械装置及び運搬具が53百万円それぞれ減少したことによります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,025百万円増加し、21,708百万円となりました。これは、短期借入金が397百万円、支払手形及び買掛金が236百万円、賞与引当金が245百万円、1年内償還予定の社債が217百万円、1年内返済予定の長期借入金が141百万円それぞれ増加し、未払法人税等が150百万円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて751百万円増加し、15,858百万円となりました。これは、社債が767百万円、繰延税金負債が246百万円それぞれ増加し、長期未払金が204百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて436百万円増加し、11,579百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が479百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表した業績予想から、平成26年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しの変更はありません。今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(耐用年数の変更)

一部の船舶の耐用年数については、従来15年を採用していましたが、長期貨物運送契約の契約期間が延長されたことを受け、従来の耐用年数を延長し、当第1四半期連結会計期間において、耐用年数を20年に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が19百万円減少し、営業損失が同額減少、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,954,762	6,100,294
受取手形及び売掛金	8,912,153	9,400,502
商品及び製品	48,971	49,532
原材料及び貯蔵品	328,633	334,001
繰延税金資産	182,052	292,807
未収入金	70,523	61,957
その他	452,913	525,254
貸倒引当金	△18,501	△19,347
流動資産合計	14,931,508	16,745,001
固定資産		
有形固定資産		
船舶	20,912,516	20,925,570
減価償却累計額	△14,782,205	△15,079,778
船舶（純額）	6,130,311	5,845,791
建物及び構築物	21,129,407	21,199,025
減価償却累計額	△15,103,918	△15,212,709
建物及び構築物（純額）	6,025,488	5,986,316
機械装置及び運搬具	7,868,332	7,917,279
減価償却累計額	△6,552,990	△6,655,169
機械装置及び運搬具（純額）	1,315,342	1,262,110
土地	7,445,896	7,445,896
リース資産	1,165,674	1,178,454
減価償却累計額	△336,093	△379,029
リース資産（純額）	829,580	799,424
建設仮勘定	701,497	747,123
その他	1,551,350	1,582,486
減価償却累計額	△1,339,306	△1,356,859
その他（純額）	212,043	225,627
有形固定資産合計	22,660,160	22,312,290
無形固定資産		
借地権	1,033,258	1,033,258
ソフトウェア	112,597	103,325
のれん	274,212	268,817
その他	93,074	92,108
無形固定資産合計	1,513,142	1,497,510
投資その他の資産		
投資有価証券	6,336,156	7,100,444
長期貸付金	3,372	3,649
繰延税金資産	443,176	433,009
保険積立金	618,088	613,647
その他	427,005	426,761
貸倒引当金	△41,308	△41,308
投資その他の資産合計	7,786,491	8,536,204
固定資産合計	31,959,794	32,346,006

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
繰延資産		
社債発行費	42,074	56,474
繰延資産合計	42,074	56,474
資産合計	46,933,378	49,147,482
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,387,663	6,624,279
短期借入金	7,459,536	7,857,503
1年内返済予定の長期借入金	3,007,629	3,149,602
1年内期限到来予定のその他の固定負債	1,043,442	1,048,684
1年内償還予定の社債	833,700	1,051,200
リース債務	197,662	196,459
未払法人税等	280,470	130,260
賞与引当金	365,858	611,468
その他	1,107,286	1,039,367
流動負債合計	20,683,249	21,708,825
固定負債		
社債	2,109,000	2,876,500
長期借入金	5,447,365	5,463,758
長期未払金	2,244,179	2,039,500
リース債務	751,267	719,322
繰延税金負債	924,397	1,171,055
退職給付引当金	1,905,729	1,910,888
役員退職慰労引当金	645,661	622,269
負ののれん	845,125	824,852
その他	234,508	230,747
固定負債合計	15,107,233	15,858,895
負債合計	35,790,483	37,567,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,035	1,215,035
資本剰余金	893,800	893,800
利益剰余金	5,912,227	5,882,623
自己株式	△36,497	△36,729
株主資本合計	7,984,565	7,954,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	925,766	1,405,549
繰延ヘッジ損益	△12,759	△9,959
その他の包括利益累計額合計	913,006	1,395,590
少数株主持分	2,245,323	2,229,441
純資産合計	11,142,894	11,579,761
負債純資産合計	46,933,378	49,147,482

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
売上高	10,727,277	11,512,814
売上原価	9,368,730	10,008,583
売上総利益	1,358,547	1,504,230
販売費及び一般管理費	1,507,729	1,557,012
営業損失（△）	△149,182	△52,782
営業外収益		
受取利息	755	151
受取配当金	85,869	86,584
助成金収入	11,746	55,710
負ののれん償却額	20,272	20,272
その他営業外収益	13,308	16,083
営業外収益合計	131,951	178,803
営業外費用		
支払利息	97,555	88,847
その他営業外費用	13,448	9,424
営業外費用合計	111,004	98,271
経常利益又は経常損失（△）	△128,234	27,749
特別利益		
固定資産処分益	15,474	1,373
保険解約返戻金	—	8,032
負ののれん発生益	582,408	—
災害支援金	32,131	—
その他特別利益	64,103	2
特別利益合計	694,118	9,408
特別損失		
固定資産処分損	323	174
投資有価証券評価損	52,025	—
役員退職慰労金	—	14,760
その他特別損失	2,973	428
特別損失合計	55,323	15,363
税金等調整前四半期純利益	510,560	21,794
法人税、住民税及び事業税	77,206	132,403
法人税等調整額	△114,516	△125,587
法人税等合計	△37,310	6,816
少数株主損益調整前四半期純利益	547,871	14,977
少数株主損失（△）	△17,439	△18,423
四半期純利益	565,310	33,401

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	547,871	14,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△633,475	490,023
繰延ヘッジ損益	2,717	2,800
その他の包括利益合計	△630,757	492,824
四半期包括利益	△82,886	507,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,914	515,985
少数株主に係る四半期包括利益	△32,971	△8,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,138,460	436,468	152,348	10,727,277	—	10,727,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	20,808	20,808	△20,808	—
計	10,138,460	436,468	173,157	10,748,085	△20,808	10,727,277
セグメント利益又は損失(△)	△177,552	△13,918	42,289	△149,182	—	△149,182

(注) 1.セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。
2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「海運事業」セグメントにおいて、平成24年6月25日付で連結子会社である栗林運輸株式会社の株式を追加取得したことに伴い、582,408千円計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,891,994	469,241	151,577	11,512,814	—	11,512,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	19,919	19,919	△19,919	—
計	10,891,994	469,241	171,497	11,532,733	△19,919	11,512,814
セグメント利益又は損失(△)	△82,573	△8,263	38,054	△52,782	—	△52,782

(注) 1.セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。
2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（耐用年数の変更）

会計上の見積りの変更に記載のとおり、一部の船舶の耐用年数について、長期貨物運送契約の契約期間が延長されたことを受け、従来の耐用年数を延長しております。

当該変更により、従来の耐用年数によった場合に比べて、当第1四半期連結累計期間の「海運事業」セグメントのセグメント損失が19,934千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 最近における四半期毎の業績の推移（連結）

平成26年3月期

	第1四半期 25年4月～25年6月	第2四半期 25年7月～25年9月	第3四半期 25年10月～25年12月	第4四半期 26年1月～26年3月
売上高	百万円 11,512	百万円	百万円	百万円
営業損失(△)	△52			
経常利益	27			
税金等調整前四半期純利益	21			
四半期純利益	33			
1株当たり四半期純利益	円 2.65	円	円	円
総資産	百万円 49,147	百万円	百万円	百万円
純資産	11,579			

平成25年3月期

	第1四半期 24年4月～24年6月	第2四半期 24年7月～24年9月	第3四半期 24年10月～24年12月	第4四半期 25年1月～25年3月
売上高	百万円 10,727	百万円 10,925	百万円 11,429	百万円 10,737
営業利益又は営業損失(△)	△149	388	391	△235
経常利益又は経常損失(△)	△128	326	395	△263
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	510	582	677	△190
四半期純利益又は 純損失(△)	565	290	328	△92
1株当たり四半期純利益又は 純損失(△)	円 44.86	円 23.07	円 26.06	円 △7.31
総資産	百万円 46,046	百万円 45,260	百万円 46,650	百万円 46,933
純資産	9,693	9,806	10,838	11,142